

【紙管製品の価格改定について】

三協紙業株式会社は、2022年4月納入分より紙管製品につき現行価格より10%以上の価格改定を実施させていただきますのでお知らせいたします。

- 1) 酢ビモノマーが2020年度比2.4倍に高騰したことを受けて、昨年は「接着剤」が大幅に価格上昇しました。
- 2) ほぼ同時期にエネルギーコストの上昇や鉄鋼業界の需給バランスの影響を受けて「口金はじめ各種金属部品」も価格高騰し、さらに品薄状態であります。
- 3) ペーパーレス化による構造的な需要減少と原燃料価格や物流コストの高騰の影響で、その他副資材としての「表面紙や各種洋紙、等」も次々と大幅に価格上昇しました。

このような状況の中、なんとか需要家様へのご負担を避けようと昨年下半年を耐えながら地道なコスト低減努めて参りましたが、既に自助努力だけでは持続的経営が困難な状況に陥っておりました。

更にここに来て、紙管業界にとって致命的にも

- 4) 2021年12月には、紙管の主原料「紙管原紙」が2月より10円/kg以上もしくは15%以上という大幅な価格改定をする旨の発表が製紙各社よりなされました。

弊社といたしましては、引き続き合理化を進める一方、もし市況の回復などがあれば、再度従来取引へ戻す努力を惜しまない所存でございます。

何卒事情ご賢察のうえ、紙管製品単価改定にご協力賜りますよう

伏してお願い申し上げます。